

教育総務部長目標（令和6年度組織目標）

● 教育総務部長 千葉 裕之（ちば ひろゆき）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 4 質の高い教育をみんなに
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを



● 教育総務部の仕事

教育総務部は、教育総務課、教育施設課、社会教育課、スポーツ振興課、文化財保護課、所沢図書館の6課で構成され、教育委員会所掌事務のうち、教育委員会の庶務、教育施設の整備、生涯学習・社会教育の推進、スポーツの振興、文化財の保護、図書館の運営などを主な仕事としています。

● 教育総務部の目標

教育委員会では、令和6年度からスタートした「第3次所沢市教育振興基本計画」に基づき、各事業を着実に進めます。教育総務部では、本計画の10の目標のうち、令和6年度は、安全・安心な学習環境の整備、歴史文化の継承、教育の質を高める環境の整備、スポーツの推進をねらいとした以下の事業を重点事業と位置づけ、学校・家庭・地域と連携しながら取り組みます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	学校施設長寿命化改修事業	老朽化が進む市内の小中学校について、所沢市が策定した「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、学校施設の長寿命化改修工事を実施します。	学校施設長寿命化改修工事を実施するため、令和6年度は、基本計画及び基本設計に基づき、実施設計業務を行い、事業を進めていきます。	実施設計につきましては、技術者不足などにより、年度内に完了できない見込みとなりましたことから、令和7年度に繰り越しました。引き続き、改修工事の実施に向けて事業を進めます。
2	国登録有形文化財「旭橋」電灯復元事業	「航空発祥の地 所沢」の歴史を市民や来訪者が体感できるよう、飛行機新道と東川に架かる国登録有形文化財「旭橋」の親柱上にあった電灯を復元します。	令和6年度は、資料調査で発見した当時の図面等をもとに電灯の設計と復元製作を実施します。	当時の図面等を資料として復元電灯の設計と製作を実施しました。
3	家庭教育推進事業	子どもの健全育成と家庭教育の向上を図るため、各小中学校区に組織される運営委員会に委託して家庭教育学級を開設し、家庭教育について学ぶ機会を保護者等に提供します。	保護者が自ら企画し、継続的に学ぶ家庭教育学級について、より参加や運営がしやすいよう支援し、様々な学習機会の提供に努めます。	健康、防犯、人権、郷土学習、進路など様々なテーマで家庭教育学級が企画され、小中学校47校で延べ5,640人が参加しました。
4	所沢市スイミングフェスティバル開催事業	市民の体力向上及びスポーツ振興を図るため、官民連携の観点から、早稲田大学及び民間プール事業者と連携し、新たに所沢市スイミングフェスティバルを開催します。	所沢市スイミングフェスティバルを開催することで、官学民の連携を強化するとともに、市民の体力づくりや泳力向上などを図ります。	早稲田大学と民間事業者8社と連携を図り、令和6年度に会議を5回実施し、9月15日に所沢市スイミングフェスティバルを開催しました。午前の部は競技性の高い種目、午後の部は水泳未経験者でも楽しめる種目で実施し、193人の参加がありました。